

Convi.BASEのICタグ活用事例

◆不動産業 事例◆

【業種】 不動産

【課題】 情報の一元管理・棚卸し効率化

【管理対象】 鍵

【管理方法】 台帳管理(物品管理システム)
棚卸し (ICタグ)
貸出し (QRコード)

【管理点数】 約8,000点



システム導入前

○紙の台帳で鍵の貸出し・返却管理をしていたが、記入の不備が発生。

○一店舗あたり棚卸しに3人がかりで数時間かかり、手間がかかる。

○各店舗間で鍵を共有するので、鍵の所在確認に時間がかかる。



システム導入後

○鍵にQRコードとICタグを貼付。

○貸出し・返却処理は、iOSなどでQRコードを読み取るだけ、記入の不備がなくなった。

○ICタグを読み取り、10分程度で棚卸し。

○店舗間で鍵の所在を問い合わせの電話が激減。

◆金融業 事例◆

【業種】金融

【課題】棚卸し・入出庫の効率化

【管理対象】文書保存箱

【管理方法】台帳管理(物品管理システム)
棚卸し (ICタグ)
入出庫 (ICタグ)

【管理点数】約3,000点



システム導入前

○倉庫に保管されている文書保存箱を人力で管理。

○管理台帳と文書箱の場所が一致しない。



システム導入後

○文書保存箱にICタグを貼付。

○入出庫処理時にICタグを読み取り、管理。

○廃棄(出庫)時、ICタグを読み取って確認。

○作業の効率化と誤廃棄防止を実現。

棚卸し機能紹介動画はこちら



ICタグの特徴

ICタグとは

ICタグは、電波などの無線で通信する機能を持ったタグのことです。

最近ではアパレル店舗での在庫管理やセルフレジ精算でもICタグが使われるようになり、身近な存在になっています。

バーコードとICタグの違い

バーコード

ひとつずつ読み取る
(1次元バーコードの場合)

ラベルが見えないと
読み取れない

管理番号や物品名など
の情報を印字可能

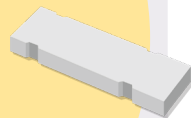


ICタグ

複数タグ同時読み取りが
可能

タグの表面が見えていなく
ても読み取り可能

貼付対象物品によって
タグの使い分けが必要
(金属対応タグなど)



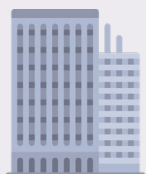
ICタグの効果的な場面

- ・複数の物品を一気に読み取って棚卸しを効率化したい
- ・複数の物品の貸出し、返却、入出庫をまとめて行いたい
- ・棚から物品を取り出さずに読み取りたい
- ・物品の探索を行いたい

文書の管理



固定資産の棚卸し



工具の管理



物品の探索

